

## IV 市民の豊かな暮らしを支える 活気と活力のある社会を築くために

### ◆市民は…

地元の産業や産物、地域資源への愛着を育むとともに、おもてなしの意識を高めます。

### ◆事業者は…

地域の活気と活力を高めるため、チャレンジ精神を持って積極的に活動するとともに、その社会的責任や役割を果たします。

### ◆行政は…

市民の豊かな暮らしを支えるため、産業基盤の整備や支援活動に取り組みます。

[政策の柱] IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために

[基本施策]

# 1 地域産業の創造性・発展性を高める

## ■現状・課題

情報通信技術の革新や輸送の高速化などに伴う、経済活動のグローバル化やボーダーレス化により経済環境が大きく変化しており、その影響が地域経済にも波及しています。また、少子高齢化の進展や雇用形態の多様化など、地域産業の担い手をめぐる社会環境も同様に変化しています。こうした中、より一層本市の地域の特性を生かし、また、創意工夫により、激しさを増す地域間競争に対応するため、地域産業の創造性・発展性を高めていくことが重要になっています。

## ■取組の基本方向

「地域産業の創造性・発展性を高める」ため、特色ある産業の集積などにより地域間競争に対応していくための「地域特性を生かした産業集積の促進」、意欲ある市民や企業の新たな事業へのチャレンジを促すための「新規開業・新事業創出の促進」、個人個人が能力を発揮し、生き生きと働くことができる環境を創出するための「就業・雇用環境の充実」、また、生産者と消費者との相互理解が図られ、食と農の結びつきを促進するための「地産地消の推進」に、重点的に取り組めます。

## ■基本施策目標

本市の農業、商業、工業において、相互に新たな関係や連携が生み出され、地域資源の有効活用や人材の交流が活発化して、地域産業の創造性・発展性が高まっています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
次世代モビリティ産業集積促進事業	産学官の連携が創り出す新しい産業の力が、住みよい暮らしと都市の活性化につながるよう、本市産業の強みである次世代モビリティ産業を基軸とした産業の集積促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆産学連携・交流事業等の実施</li> <li>◆コーディネート事業の実施</li> <li>◆人材育成事業の実施</li> <li>◆技術実用化促進事業の実施</li> <li>◆次世代モビリティ産業に関するPR事業の実施</li> <li>◆企業立地の推進</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
起業チャレンジャーの育成・集積促進事業	世代や経験に関わらず、意欲や才能に溢れた人材が活躍できるよう、新規開業や新事業創出に積極的に取り組もうとするチャレンジャーの育成・集積に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆起業家予備軍育成事業の実施</li> <li>◆U・J・Iターン起業家支援事業の実施</li> <li>◆起業家成長支援事業の実施</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
(仮称)産業観光情報プラザの整備	円滑な企業活動を支援し、地域産業の理解の促進や振興、さらには広域からの集客や産学官の交流を促進するため、産業や観光の情報発信・交流の拠点となる「(仮称)産業観光情報プラザ」の整備を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域情報発信機能の整備（企業展示・観光案内・イベント空間）</li> <li>◆地域産業振興機能の整備（産業相談窓口、交流空間）</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○ (整備)</td> <td></td> </tr> </table>	前期	後期	○ (整備)	
前期	後期						
○ (整備)							
アグリネットワーク推進事業	本市の農産物の需要拡大と産業の振興を図るため、農業と他産業との新たな連携を促進することにより、地域の農産物、人材、技術その他の資源を有効に結びつけ、新たな商品、販路、地域ブランド等を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆6次産業振興による高付加価値農業の促進</li> <li>◆情報共有・交流事業の実施</li> <li>◆プロジェクト形成支援の実施</li> <li>◆ネットワーク活動PRの実施</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
地産地消の推進							
地産地消啓発活動の促進	新鮮で安全・安心な地元農産物がいつでも、どこでも手に入る仕組みを構築するため、啓発活動に取り組むとともに、地元農産物の消費・販路拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地産地消の日の制定、キャンペーン事業</li> <li>◆朝市開催事業</li> <li>◆アンテナショップの拡充</li> <li>◆「(仮称)うつのみや地産地消推進店」認定事業</li> <li>◆公共施設での地産地消推進</li> <li>◆地元農産物による商品開発事業</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○ (拡充)</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	○ (拡充)	→
前期	後期						
○ (拡充)	→						
消費者ニーズに対応した農産物の生産振興	消費者の多様なニーズに対応できるよう、少量多品目の生産体制を確立するとともに、高付加価値な農産物の生産力強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農産物生産力強化事業</li> <li>◆学校給食出荷支援事業</li> <li>◆宇都宮ブランド農産物のPR事業</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

## ■ 施策の体系

### 1 地域特性を生かした産業集積の促進

#### ● 施策目標

地域間競争に対応できる地域の特性を生かした産業集積が進んでいます。

#### ● 施策指標

指標名	現状 (H19実績)	目標値 (H24)
共同研究開発等プロジェクト数	19件/年	20件以上/年

#### 【基本事業】

- 特色ある産業集積の推進
  - ・次世代モビリティ産業集積促進事業
  - ・企業誘致推進事業
  - ・産業活動環境の向上
- 地域産業の情報発信の強化
  - ・(仮称)産業観光情報プラザの整備
  - ・地域産業資源活用促進事業
- 多彩な産業連携活動の推進
  - ・産業間・産学官交流連携促進事業
  - ・アグリネットワーク推進事業

### 2 新規開業・新事業創出の促進

#### ● 施策目標

市民や企業の時代のニーズを捉えた積極的な取組により、新規開業や新事業が創出されています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H16.10現在)	目標値 (H24)
事業所新設率(年率)	4.2%	現状値を維持

#### 【基本事業】

- 起業チャレンジャーの育成・集積促進
  - ・起業家予備軍育成事業
  - ・U・J・Iターン起業家支援事業
  - ・起業家成長支援事業
- 事業チャレンジ基盤の充実
  - ・事業資金調達の支援
  - ・インキュベータの拡充
  - ・研究開発の支援

### 3 就業・雇用環境の充実

#### ● 施策目標

求職者の雇用が確保され、それぞれの能力を発揮しながら安全に生き生きと働いています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18実績)	目標値 (H24)
雇用保険受給者数	2,405人	2,000人

#### 【基本事業】

- 望ましい就業と雇用の実現
  - ・就業支援事業
  - ・キャリア形成支援事業
  - ・雇用確保・安定化事業
- 健全な労働環境づくり
  - ・労働相談事業
  - ・雇用・労働条件等の周知啓発
  - ・労働環境改善の充実・促進

## 4 地産地消の推進

### ●施策目標

生産者と消費者との相互理解が促進され、地域農業と食生活が密接に結びついた地域社会が形成されています。

### ●施策指標

指標名	現状値 (H17.12 現在)	目標値 (H24)
地域食料自給率	31%	37%

### 【基本事業】

#### ●地産地消啓発活動の促進

- ・地産地消の日の制定、キャンペーン事業
- ・朝市開催支援事業

#### ●消費者ニーズに対応した農産物の生産振興

- ・農産物生産力強化事業
- ・学校給食出荷支援事業

#### ●安全・安心な農産物等の供給促進

- ・生産履歴の記帳と情報提供の促進
- ・残留農薬検査支援事業
- ・減農薬・無農薬農業の促進

## 2 商工業の活力を高める

### ■現状・課題

消費者のライフスタイルの変化やニーズの多様化、商業機能の周辺部への拡散に伴う中心市街地の活力低下、ICT等を活用した技術革新の進展など、商工業を取り巻く急速な環境変化に、迅速で的確に対応することが求められています。こうした中、本市の商工業の持続的な発展を実現するため、商工業者の活力を高めることが重要になっています。

### ■取組の基本方向

「商工業の活力を高める」ため、商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための「商店街の魅力向上」、中小企業の持続的な成長を支えるための「中小企業の経営・技術革新の促進」、企業経営における基礎体力を強化するための「安定した経営基盤の確立」、多様な消費者ニーズに応えた安定した商品供給を実現するための「市場機能の充実」に、重点的に取り組めます。

### ■基本施策目標

「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。

### ■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
商店街景観整備の促進	回遊性の向上や商店街の集客力を高めるため、商店街の魅力豊かな景観整備を促進する。	◆商店街景観整備事業 ・県等と連携した支援の展開 ・景観整備事業の充実（エリア拡大）	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">—————→</td> </tr> </table>	前期	後期	—————→	
前期	後期						
—————→							
商店街活性化事業の促進	商店街の魅力を高めるため、商店街の活性化事業を促進する。	◆中心商店街の魅力向上 ◆地域商店街の魅力向上 ◆営業力・販売力等の強化支援	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">—————→</td> </tr> </table>	前期	後期	—————→	
前期	後期						
—————→							
企業と地域社会との連携促進	企業と、市民や行政との協働を図るとともに、CSR活動を通じた企業の社会的価値（信用）の向上を支援するため、企業と地域社会との連携を促進する。	◆「宇都宮版CSR」の構築 ・市民・企業に対するCSR活動の普及・啓発 ・CSR活動の評価システムの構築 ・優遇制度の導入	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">—————→</td> </tr> </table>	前期	後期	—————→	
前期	後期						
—————→							

## ■ 施策の体系

### 1 商店街の魅力向上

#### ● 施策目標

商店街が、市民の日常生活やまちづくりを支えながら、活気と賑わいにあふれています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H19.7 現在)	目標値 (H24)
休日の中心商店街の通行量	129,609 人	143,000 人

#### 【基本事業】

- 魅力ある中心商業地の整備促進
  - ・ 商店街景観整備の促進
  - ・ 中心商業地への出店促進
  - ・ 中心市街地拠点広場の活用促進
- 地域社会の核となる商店街の強化
  - ・ 地域特性に応じた商業集積の整備促進
  - ・ 安全・安心な商店街の整備促進
  - ・ 商店後継者の育成支援
- 商店街活動の強化促進
  - ・ 商店街活性化事業の促進
  - ・ 商店街や商店会組織の充実
  - ・ 情報発信機能の強化促進

### 2 中小企業の経営・技術革新の促進

#### ● 施策目標

中小企業が、絶えず技術の革新、経営の合理化などを進め、持続的に成長しています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
高度化設備設置補助制度を活用した企業数	37 件	45 件

#### 【基本事業】

- 高度技術開発の促進
  - ・ 設備高度化の促進
  - ・ 知的所有権の取得促進
  - ・ 発明、研究開発意欲の高揚
- 先進的企業経営の促進
  - ・ 経営革新や技術革新の促進
  - ・ 企業と地域社会との連携促進
- 地域産業を担う人材の育成
  - ・ 伝統産業の振興
  - ・ ものづくり達人制度の活用促進
  - ・ 高度技術承継の支援

### 3 安定した経営基盤の確立

#### ● 施策目標

中小企業が、経営力を備え、安定した経営基盤を確立しています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H17 実績)	目標値 (H24)
中小企業の製造品出荷額	651,780 百万円	685,027 百万円

#### 【基本事業】

- 資金調達の円滑化
  - ・ 制度融資の活用促進
  - ・ 信用保証の充実
- 経営支援体制の充実
  - ・ 販路拡大の強化支援
  - ・ 経営基盤の強化
  - ・ 情報化社会への環境整備
- 企業活動の共同化・連携の促進
  - ・ 企業間交流の促進
  - ・ 事業者の組織化支援

## 4 市場機能の充実

### ●施策目標

消費者ニーズの多様化に合わせた食料品などを、安定的に供給しています。

### ●施策指標

指標名	現状値 (H18実績)	目標値 (H24)
中央卸売市場年間取扱高	187,161 トン	188,849 トン

### 【基本事業】

#### ●市場機能・施設整備の充実

・施設・設備の高機能化・高付加価値化

#### ●流通の効率化の推進

・配送業務効率化の推進

・短時間流通の推進

・市場機能の電子化の推進

[政策の柱] IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために

[基本施策]

## 3 農林業の付加価値を高める

### ■現状・課題

高齢化の進行や就業構造の変化、消費者の価値観の多様化により、農業の担い手の確保や生産基盤の維持向上、また、消費者が安心できる新鮮で高品質な農産物の安定的な供給が求められています。こうした中、農林業の持続力・競争力を強化するため、その付加価値を高めていくことが重要になっています。

### ■取組の基本方向




「農林業の付加価値を高める」ため、担い手の育成や生産基盤の充実などにより、安定した稲作経営を実現するための「安定した水田農業基盤の確立」、農産物の品質を向上するとともにブランド化を推進し、産地間競争に打ち勝つための「農産物の産地力の向上」、魅力や活力ある農村社会を形成するための「農村地域の活性化」、農林業のさまざまな公益的機能を維持・向上するための「環境と調和した農林業の推進」に、重点的に取り組めます。

### ■基本施策目標

生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
<b>生産力の向上</b>							
農業担い手の育成	本市農業人材の充実を図るため、認定農業者など中核的な地域農業の担い手を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆経営規模拡大への支援</li> <li>◆大型機械・施設導入への支援</li> <li>◆農業経営者・後継者の経営知識の強化</li> <li>◆集落営農の実現に向けた支援</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
土地基盤の整備	効率的で安定的な農業経営を実現するため、土地基盤を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆圃場整備事業</li> <li>◆農道整備事業</li> <li>◆かんがい排水施設の整備</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
<b>農産物ブランド化の推進</b>							
「売れる米作り」の推進	米の産地としての評価を上げ、産地間競争に勝ち残るため、消費者・実需者ニーズに対応した「売れる米作り」を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域ブランド米「みやおとめ」の販売拡大</li> <li>◆特別栽培米のための土地利用調整の支援</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
ブランド農産物の販売促進	高付加価値な農産物による生産者の利益の向上を図るため、ブランド農産物の販売を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各種イベントやセールス等、販売促進</li> <li>◆海外に向けた輸出促進</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
<b>魅力ある農村地域づくり</b>							
むらづくり運動の推進	農村地域の活性化を図るため、地域主体のむらづくり運動を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地区村づくり協議会の運営促進</li> <li>・地区農業祭の開催</li> <li>・伝統芸能の育成</li> <li>・後継者の育成</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
ふれあい交流活動主体の育成	「農」資源を活用した交流活動を推進するため、地元農家等、ふれあい交流活動主体の育成を図る。	◆都市農村交流の受入主体の育成	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
農業・農村ふれあい交流事業の推進	農村地域の主体的な活動による活性化と、都市地域の農業に対する理解を深めるため、都市と農村がふれあう交流事業を推進する。	◆地域主体の農村資源を活用した交流メニューの充実	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	→
前期	後期						
→	→						
<b>農地・水・環境保全向上対策</b>	農業者と地域住民が一体となった農業資源の保全や、環境に配慮した営農活動を支援するため、農地・水・環境保全向上対策を推進する。	◆農業資源の良好な保全と質的向上の促進	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td></td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

<p><b>バイオマスタウンの構築</b></p>	<p>循環型社会の形成，戦略的（新規）産業の育成，地球温暖化防止を図るため，バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた「バイオマスタウン」を構築する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆バイオマスの調査・研究，構想策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマスの発生等の本市特性の把握</li> <li>・バイオマスタウン構想の策定</li> </ul> </li> <li>◆バイオマス利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス利活用サイクルの構築</li> </ul> </li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">前期</td> <td style="text-align: center; width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">              (拡充)         </td> <td></td> </tr> </table>	前期	後期	 (拡充)	
前期	後期						
 (拡充)							

## ■ 施策の体系

### 1 安定した水田農業基盤の確立

#### ● 施策目標

地域の実情に合った担い手が育成され、安定した経営基盤のもとで、足腰の強い水田農業が展開されています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H19.10 現在)	目標値 (H24)
認定農業者数	685 経営体	730 経営体

#### 【基本事業】

##### ● 生産基盤の整備

- ・土地基盤の整備
- ・大規模施設の整備
- ・大型共同利用機械の導入

##### ● 高品質な米・麦・大豆の生産振興

- ・「売れる米作り」の推進
- ・高品質な麦・大豆の生産振興

##### ● 担い手の確保・育成

- ・農業担い手（認定農業者・集落営農組織等）の育成
- ・新規就農者の確保
- ・農業担い手への農地の利用集積の促進

### 2 農産物の産地力の向上

#### ● 施策目標

産地間競争に打ち勝つ、市場価値の高い農産物が生産されています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
米, トマト, アスパラ, 梨, 肉用牛の出荷量	36,240 トン	38,550 トン
	4,180 トン	4,750 トン
	48 トン	100 トン
	4,570 トン	6,000 トン
	650 頭	800 頭

#### 【基本事業】

##### ● 農産物のブランド化推進

- ・ブランド農産物の販売促進
- ・新たなブランド農産物の開発
- ・農産物の海外輸出の促進

##### ● 園芸産地の育成・強化

- ・園芸作物の団地化促進
- ・園芸農業「担い手」の確保・育成
- ・生産施設基盤の促進

### 3 農村地域の活性化

#### ● 施策目標

地域住民がコミュニティの維持・保全活動に積極的に取り組み、都市との交流が盛んに行われ、活力ある農村社会が形成されています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
都市農村交流参加者数	1,286 千人	1,351 千人

#### 【基本事業】

##### ● 農資源を生かした農村地域づくり

- ・むらづくり運動の推進
- ・農業・農村ふれあい交流事業の推進
- ・ふれあい交流活動主体の育成

##### ● 農林業の魅力発信

- ・農林業イベントの実施
- ・農林業イベント情報の充実
- ・観光交流施設の充実

## 4 環境と調和した農林業の推進

### ●施策目標

環境と調和した農林業を推進し，農林業が持つ多様な公益的機能が維持・向上しています。

### ●施策指標

指標名	現状値 (H19.3 現在)	目標値 (H24)
エコファーマーの認定数	505 人	760 人

### 【基本事業】

- 環境保全型農業の推進
  - ・バイオマスタウンの構築
  - ・環境と調和のとれた農業の普及
  - ・減農薬・無農薬農業の促進
- 農資源・農村環境の保全推進
  - ・農地・水・環境保全向上対策の推進
  - ・環境に配慮した土地改良事業の推進
  - ・遊休農地の活用促進
- 森林保全整備の推進
  - ・民有林整備事業の推進
  - ・森林体験事業の推進

[政策の柱] IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために

[基本施策]

## 4 魅力ある観光と交流を創出する

### ■現状・課題

近年、観光に対するニーズが、「団体」から「個人」へ、「観る」から「周遊する」、「参加・体験する」、「滞在する」へと変化するとともに、「安らぎ」や「癒し」を求める傾向が強まっています。こうした中、本市へより多くの来訪者を呼び込み、満足感や再来意欲を高め、魅力ある観光と交流を創出することが重要になっています。

### ■取組の基本方向

「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に、重点的に取り組めます。

### ■基本施策目標

本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らが誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール						
おもてなし推進事業	観光都市としてふさわしい接遇を目指し、市民全体のおもてなし意識の向上を図るため、おもてなし推進事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆おもてなし推進体制の充実</li> <li>◆おもてなしモニター・顕彰制度の実施</li> <li>◆おもてなし意識の啓発</li> <li>◆宇都宮おもてなしBOOKの推奨</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									
観光・コンベンション機能の充実	来訪者が楽しみ、快適に過ごすことができるよう、おもてなしの心あふれる観光案内機能や、コンベンション機能の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆（仮称）広域交流プラザの整備</li> <li>◆観光案内施設の充実</li> <li>◆観光ボランティア団体の運営支援</li> <li>◆コンベンション情報の収集と提供</li> <li>◆コンベンション関連団体、業界、各種団体等との協力体制強化</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(拡充)</td> </tr> </table>	前期	後期	○	→	(拡充)	
前期	後期								
○	→								
(拡充)									
体験型・参加型観光の促進	本市の地場産品や伝統工芸の創作体験、産業観光など、来訪者に多様な交流機会を提供するため、体験型・参加型観光を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆まちかど観光体験館の整備</li> <li>◆農林公園ろまんちっく村、篠井農産加工所等の活用促進</li> <li>◆産業観光の促進</li> <li>◆ふるさと宇都宮の伝統文化の継承</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									
地域特性資源の活用促進	「食」、「文化」、「農」など、本市のさまざまな特色ある資源を観光都市としての魅力に繋げるため、地域特性資源の活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光資源を活用したイベント（餃子祭り等）の拡充促進</li> <li>◆農資源を活用したイベント（農林業祭等）の拡充促進</li> <li>◆スポーツコンベンション等の支援を通じた新たなイベントの開催促進</li> <li>◆地域交流イベントの観光資源化</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									

## ■ 施策の体系

### 1 おもてなしの向上

#### ● 施策目標

本市への来訪者が「来てよかった」、「また訪れたい」と感じています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18.12 現在)	目標値 (H24)
「来てよかった」、「また訪れたい」と感じている来訪者の割合	44.2%	50.0%

#### 【基本事業】

##### ● 市民の観光意識啓発

- ・ 郷土愛と知識の醸成
- ・ おもてなし推進事業

##### ● おもてなし体制の充実

- ・ 観光案内施設の充実
- ・ 観光ガイドの育成
- ・ 観光・コンベンション機能の充実

##### ● 観光情報発信の充実

- ・ 情報化によるうつのみやの魅力の発信
- ・ 観光セールスの強化

### 2 観光資源の活用促進

#### ● 施策目標

人・自然・文化など、本市の持つさまざまな観光資源が生かされ、多くの人々が宇都宮を訪れています。

#### ● 施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
年間入込客数	13,203 千人	15,000 千人

#### 【基本事業】

##### ● 都市観光の推進

- ・ 体験型・参加型観光の促進
- ・ 地域特性資源の活用促進

##### ● 大谷観光の推進

- ・ 大谷再発見事業の推進
- ・ 大谷の景観資源の保全
- ・ 採取場跡地の安全対策と活用促進

##### ● 広域観光ネットワークの構築

- ・ 広域連携の推進
- ・ 広域観光事業の充実